

練馬区立光が丘四季の香小学校

学校だより

教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子

<http://www.shikinokaori-e.nerima-ky.ed.jp/>



< 5月号 >

令和元年5月10日

TEL 03-3977-2711

校長 高野博文
第100号

日本文化と思いやりの心

副校長 川村 豊

校庭の木々の緑が色を増し、目に鮮やかにうつる季節となりました。子供たちも新しい環境に慣れ、連休明けも元気に登校してきています。5月25日（土）に運動会を控え、各学年がこれから活動的な学校生活を送っていきます。汗をかくことも多いと思います。お子様の健康管理をよろしくお願ひします。

さて、5月1日より元号が「令和」になりました。この言葉は日本最古の歌集である「万葉集」にある「梅花の歌」から採用されたとのこと。

万葉集 「梅花の歌」

初春の令月にして 気淑く風和ぎ
梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す

春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願ひを込め、決定した。

（日経新聞より引用）

現在、元号を使用している国は世界中でも日本だけだということ、これも日本の文化ということもできるでしょう。生活習慣が西洋化している現代において、日本という国の文化を振り返るよい機会ですね。

先日、古都鎌倉を散策してきました。連休中ということもあり大勢の人で賑わっていましたが、たくさんの花や樹木に囲まれていると気持ちが安らぎます。ちょうどツツジの時期ということもあり、鮮やかな花に多くの人たちが目をとめていました。4月は桜、5月はツツジ、6月はあじさいと、四季折々の花が楽しめるのも日本ならではです。また、日本は周りを海に囲まれている国です。そのため、魚など魚介類を食べる技術が発達しています。鰹だしや昆布だしを使った料理などは海外では見られないものです。これも大切な日本文化です。

「江戸しぐさ」という言葉を聞くことがあります。「傘かしげ」や「かたひき」など、すれ違う相手を思っただけの仕草を指したもので、様々な思いやりが詰まっています。このような気持ちが日本に昔からあることにうれしさを感じると共に誇らしく思います。大切な日本文化として是非後世に伝えていきたいと考えています。学校におきましても「思いやりの心」の育成は重要課題です。ご家庭におかれましても子供たちと話題にしていただければと思います。